

船員に関する特定最低賃金（漁業（いか釣り）最低賃金）の審議について

- 令和6年11月に、「漁業（大型いか釣り）最低賃金」を、中型いか釣り漁業を含む業種へ拡大し、「漁業（いか釣り）最低賃金」とする方向で決定することが適当であるとの答申
- 令和6年11月に、漁業（いか釣り）の最低賃金の額を決定することについて諮問
公労使委員（各2名）からなる専門部会を設置

令和6年11月21日 国土交通大臣から交通政策審議会に諮問

令和6年11月22日 最低賃金専門部会を設置〔第177回船員部会〕

第1回（令和7年1月22日）

- ・ 労使の合意は得られず。
- ・ 次回までに労使間で調整を行うことで合意

第2回（令和7年2月21日）

- ・ 労使合意した 213, 300円を、最低賃金専門部会のとりまとめとすることで結論。

最低賃金専門部会の審議結果の報告及び答申案の審議〔第180回船員部会〕

漁業（いか釣り）最低賃金専門部会委員名簿
（敬称略、五十音順）

（公益を代表する委員）

河野真理子 早稲田大学法学学術院 教授

◎野川 忍 明治大学専門職大学院法務研究科 教授

（関係船員を代表する委員）

釜石 隆志 全日本海員組合 水産局水産部専任部長

漢那 太作 全日本海員組合 水産局水産部長

（関係使用者を代表する委員）

中津 達也 （一社）全国いか釣り漁業協会 会長

谷地 充晴 株式会社ヤマツ谷地商店 代表取締役社長

◎専門部会長